

人生の地図を持つための8つの法則

1 霊魂の法則

自分が霊的な存在であることを意識して生きること。人はそれぞれ課題を持ってこの世に生まれてくる。経験を積み、感動を得ることによってたましいを磨くことを目的としている。肉体の死は現世での修行の終了を意味するにすぎず、たましいはあの世に戻って永遠に生き続ける。

2 階層の法則

肉体の死後、たましいは現世でいかに成長したかによって、それに応じた階層へと向かう。肉体を捨て「幽体」となると、最初は現世と幽界の間地点である「幽現界」へ向かい、そこから「幽界」へ進み、やがて幽体をも脱ぎ捨て光となって「霊界」へと上昇する。死後の世界は明るい天国のような層から暗い地獄のような層まで幾重にも分かれており、現世での成長に応じて移行する層が変わる。

3 波長の法則

一言で言えば「類は友を呼ぶ」。波長の高いたましいはポジティブな出会いを引き寄せ、波長の低いたましいはネガティブな出会いを引き寄せる。みずからのたましいを向上させることで波長を高めれば、志の高い仲間と出会うことができる。逆にたましいの錬磨を怠ると、周囲にやる気のない人間が集まってしまう。

4 守護の法則

自分を見守ってくれる守護霊の存在を信じて生きること。依存してはいけないが、守護霊はどんなに苦しい試練の中にある時も、大きな愛で見守ってくれている。守護霊は役割によって四つに分けられる。生前から死後まで見守る中心的存在の「主守護霊」、職業や才能を指導する「指導霊」、数年先までをコーディネートする「支配霊」、これらを手伝う「補助霊」がいる。

5 類魂の法則

どのたましいも、帰るべき故郷として類魂（グループ・ソウル）を持っている。類魂をコップの水にたとえるならそれぞれのたましいは一滴の水。現世での修行を終えたたましいは霊界に戻り、グループ・ソウルに混じり合う。すべての経験が類魂全体の叡智となり、それぞれのたましいが純化することでコップ全体の透明度を上げることを目指している。

6 因果の法則

自分でまいた種は、自分で刈り取らなければならない。自分の行動は必ず自分に返ってくる。自分がネガティブな想念を持っていれば、やがてネガティブな結果がもたらされる。自分が誰かを嫌うと、相手もまた自分を嫌うという現象はこのため。逆に、人に親切にすればいつか自分に返ってくるという「正のカルマ」もある。

7 運命の法則

運命とは変えられないものではなく、自分の力で作り上げていくもの。たましいを磨く努力によって人生を切り拓くことができる。一方、国籍や性別など自分の力では変えられないのが宿命。ケーキにたとえるなら、宿命がスポンジで運命がクリーム。スポンジの特性に合わせてクリームでデコレーションするように、どんな宿命であろうと、自分の努力で運命を拓けば人生を輝かせることができる。

8 幸福の法則

これまで挙げた七つの法則を欠けることなく実践すれば、霊的真理に沿って幸せを得ることができる。お金や出世などの物質主義的な成功を求めるのではなく、試練を克服しながら愛を学び、たましいを向上させることにより、「失う恐怖」から自由になることができる。それこそが、スピリチュアリズムにおける真の幸せを意味する。